

す

一又重塔

菟川慈仙堂の上子にあり、享長十二年の
棟札あり、文曰、出羽守大泉庄羽黒山又重塔
棟札、天長年中、平將門以本寺地蔵菩薩の
像慈仙（安）刻、又重塔建立、その後平
時、正和二年建立、大室寺武蔵源氏守、藤原
政氏再興、人王百一代、田融院、神宇、永和
二年六月入仏、本寺大自在菩薩、蓮華、他
享長十二年七月廿七日、出羽守、藤原光修、造
志村伊豆守、光安、下對馬守、康久とあり、但
伊豆守對馬守の守の字ハ、私ニ稱セー事
ニテ、略の事ナシ、何レ

一下居社

手向村ニあり、古彫羽黒山、権現を月より
表とけ社、一下居あり、といふ、又古社とも
いふ、上件所、久長の下に、住まひ、あり、あとも、古
方、古館親世音大士、天照大祇宮、羽黒山
大権現、夢門、得益の日、臨天子、こと、所、合、一
とも、説より、古社、とも、いふ、や、前に仁王